

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 亀田製菓株式会社
 コード番号 2220 URL <http://www.kamedaseika.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中 通泰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営統括本部長 (氏名) 佐藤 勇
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 025-382-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	58,231	—	2,099	—	2,251	—	1,209	—
20年3月期第3四半期	56,212	2.8	2,729	13.5	2,876	16.7	1,414	9.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	54.20	—
20年3月期第3四半期	63.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	49,164	—	26,810	—	54.4	1,199.43	—	
20年3月期	48,201	—	26,361	—	54.5	1,177.35	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 26,724百万円 20年3月期 26,274百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	1.7	3,100	△7.1	3,200	△8.7	1,800	△3.7	80.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 KAMEDA USA, INC.) 除外 1社(社名)
 [(注)詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注)詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 [(注)詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 22,318,650株 20年3月期 22,318,650株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 37,916株 20年3月期 2,046株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 22,312,424株 20年3月期第3四半期 22,317,663株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期は、米国の金融危機に端を発した経済の混乱が拡大し、日本においても株価の下落、輸出の鈍化や雇用不安など、経済は全面的に減速する形となりました。また、食品業界においては平成20年9月に事故米の不正流通事件が発生し、食品への信頼が著しく損なわれることとなりました。

このような状況の下で、当グループは食の安全・安心の確保を最優先としながら、厳しい経営環境への対応をはかり、お客様に価値ある商品を提供することでご支持の維持拡大に取り組んでまいりました。

①菓子の製造販売事業

菓子の製造販売事業においては、主力商品の販売は総じて堅調に推移いたしました。ブランド別では、「柿の種」、「ハッピーターン」、「うす焼」、「手塩屋」などが好調に推移し、前年同四半期を上回る形となりました。一方で、「海苔ピーバック」、「海老のりあられ」、「つまみ種」などは前年同四半期を下回る形となりました。

②貨物運送、倉庫事業

貨物運送、倉庫事業は、景気の減速による物流量の減少や激しい業者間競争など、経営環境は一層厳しさを増す形となりました。このような状況の下で、当事業では菓子配送のノウハウを活かした共同配送の強化に取り組みました。

③その他の事業

システム開発では、グループIT統制構築に取り組んだほか、グループ基幹システムのダウンサイジングに継続して取り組みました。設備開発では、グループ各社の新商品設備や合理化設備の導入などに取り組みました。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は58,231百万円となりました。

利益面では、原材料費やエネルギー費の高騰は一段落したものの、総じて高止まりの推移となりました。これに対して当グループはコストダウン活動を積極的に展開し、コストの吸収を図るとともに、平成20年4月より一部の米菓製品の価格改定を実施いたしました。これらの対応に加え、積極的な販売促進活動によって販売が堅調に推移したことにより、営業利益2,099百万円、経常利益2,251百万円、四半期純利益は1,209百万円と、概ね計画どおりの推移となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、19,402百万円（前連結会計年度末比1,221百万円の増加）となりました。

これは主に受取手形及び売掛金の残高増加の一方、現金及び預金の残高減少によるものであります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、29,761百万円（前連結会計年度末比258百万円の減少）となりました。

これは主に減価償却による有形固定資産の減少や、投資有価証券評価損による投資その他の資産の減少によるものであります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、14,620百万円（前連結会計年度末比810百万円の増加）となりました。

これは主に支払手形及び買掛金の増加の一方、未払法人税等の減少などによるものであります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、7,733百万円（前連結会計年度末比296百万円の減少）となりました。

これは主に長期借入金の約定返済による減少であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、26,810百万円（前連結会計年度末比448百万円の増加）となりました。

これは主に利益剰余金の増加により株主資本が増加した一方、その他有価証券評価差額金などの減少によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務等の増加による一方、法人税等の納税や売上債権の増加により、1,386百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資による支出により、△2,257百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当金の支払いにより、△852百万円となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して1,720百万円減少し、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は3,280百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界経済が引き続き混乱を続ける中で、国内景気や消費の動向についても不透明感がさらに強まるものと予想されます。

このような状況の下で当グループは食の安全・安心を最優先としながら、品質の向上とコスト削減の両立に取り組み、お客様のご支持を維持・拡大することに努めてまいります。

これらの取り組みにより、通期の見通しにつきましては、平成20年5月13日公表の予測値から大きな変化は無いものと考えております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成20年4月1日に、当社の連結子会社として、KAMEDA USA, INC. を設立いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(追加情報)

平成20年度の法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施いたしました。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ84,497千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,389,856	5,776,996
受取手形及び売掛金	12,063,923	9,263,237
商品及び製品	770,340	865,820
仕掛品	407,348	491,434
原材料及び貯蔵品	978,749	755,474
その他	803,599	1,036,675
貸倒引当金	11,174	8,039
流動資産合計	19,402,643	18,181,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	7,737,822	8,096,857
機械装置及び運搬具 (純額)	6,913,352	7,306,648
土地	6,642,902	6,642,902
その他 (純額)	969,257	391,982
有形固定資産合計	22,263,334	22,438,390
無形固定資産		
のれん	99,949	114,227
その他	374,043	356,351
無形固定資産合計	473,992	470,578
投資その他の資産		
その他	7,084,908	7,191,387
貸倒引当金	60,715	80,715
投資その他の資産	7,024,193	7,110,672
固定資産合計	29,761,520	30,019,641
資産合計	49,164,163	48,201,241

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,058,140	4,888,909
短期借入金	2,409,795	2,490,598
未払法人税等	73,740	535,279
賞与引当金	597,623	1,305,908
その他の引当金	247,949	258,600
その他	5,232,844	4,330,181
流動負債合計	14,620,093	13,809,477
固定負債		
長期借入金	510,955	810,202
退職給付引当金	6,726,409	6,717,424
その他の引当金	335,713	335,383
その他	160,832	167,053
固定負債合計	7,733,910	8,030,063
負債合計	22,354,003	21,839,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,946,132	1,946,132
資本剰余金	486,533	486,533
利益剰余金	24,589,459	23,827,537
自己株式	47,056	3,046
株主資本合計	26,975,069	26,257,156
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83,424	101,316
繰延ヘッジ損益	29,244	42,125
為替換算調整勘定	138,196	41,827
評価・換算差額等合計	250,865	17,363
少数株主持分	85,956	87,179
純資産合計	26,810,160	26,361,699
負債純資産合計	49,164,163	48,201,241

(2) 四半期連結損益計算書
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)
売上高	58,231,479
売上原価	35,370,187
売上総利益	22,861,291
販売費及び一般管理費	20,761,801
営業利益	2,099,489
営業外収益	
受取利息	11,864
受取配当金	59,290
持分法による投資利益	18,422
その他	128,573
営業外収益合計	218,150
営業外費用	
支払利息	30,623
その他	35,567
営業外費用合計	66,190
経常利益	2,251,449
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,603
特別利益合計	1,603
特別損失	
固定資産処分損	66,829
減損損失	17,799
その他	11,258
特別損失合計	95,887
税金等調整前四半期純利益	2,157,165
法人税、住民税及び事業税	667,612
法人税等調整額	280,077
法人税等合計	947,689
少数株主利益	251
四半期純利益	1,209,224

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,157,165
減価償却費	1,954,625
減損損失	17,799
のれん償却額	14,278
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,016
退職給付引当金の増減額(は減少)	8,984
賞与引当金の増減額(は減少)	708,285
その他の引当金の増減額(は減少)	10,320
受取利息及び受取配当金	71,154
支払利息	30,623
持分法による投資損益(は益)	18,422
投資有価証券評価損益(は益)	1,862
固定資産処分損益(は益)	41,980
売上債権の増減額(は増加)	2,801,111
たな卸資産の増減額(は増加)	52,736
仕入債務の増減額(は減少)	1,171,393
その他	711,980
小計	2,450,678
利息及び配当金の受取額	101,120
利息の支払額	31,588
法人税等の支払額	1,133,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,386,825
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額(は増加)	336,171
有形固定資産の取得による支出	1,672,231
有形固定資産の売却による収入	2,967
投資有価証券の取得による支出	60,491
投資有価証券の売却による収入	160
その他	192,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,257,766
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	59,281
長期借入金の返済による支出	439,331
自己株式の取得による支出	44,009
配当金の支払額	428,772
財務活動によるキャッシュ・フロー	852,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,026
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,720,746
現金及び現金同等物の期首残高	5,000,996

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

現金及び現金同等物の四半期末残高

3,280,250

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	菓子の製造 販売事業 (千円)	貨物運送、 倉庫事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	55,450,865	1,933,512	847,101	58,231,479	—	58,231,479
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,395	3,491,162	698,836	4,191,394	(4,191,394)	—
計	55,452,261	5,424,674	1,545,937	62,422,873	(4,191,394)	58,231,479
営業利益	1,852,942	179,021	67,526	2,099,489	—	2,099,489

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

(1) 菓子の製造販売事業……菓子の製造販売

(2) 貨物運送、倉庫事業……貨物運送、倉庫

(3) その他……自動車の販売・修理、コンピュータソフトウェアの開発・販売、設備等の設計・監理

3 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)2.に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)3.に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4 追加情報

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)(追加情報)に記載の通り、平成20年度の法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施しました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業利益は「菓子の製造販売事業」で84,358千円、「貨物運送、倉庫事業」で122千円、「その他」で17千円それぞれ増加しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当第3四半期連結会計期間
(自 平成20年10月1日
至 平成20年12月31日)

株式取得による会社等の買収

1 その旨及び目的

当社は、平成21年1月17日開催の取締役会において、三菱商事株式会社及び泰MC商事会社が所有するSMTC Co., Ltd.の株式を取得することを決議し、同年1月20日に株式譲渡契約を締結いたしました。

当該株式を取得し、同社を連結子会社化することで、近年、米菓の需要が世界的に拡大している状況の下で、タイ国を重要な供給拠点の一つとして位置づけ、安全で高品質な米菓を生産することを目的としております。

2 株式取得の相手会社の名称

三菱商事株式会社
泰MC商事会社

3 買収する会社の名称等

①名称	SMTC Co., Ltd.
②事業の内容	米加工品(米菓)製造・販売
③概要	(平成20年3月期)
売上高	1,088百万円
経常損失	131百万円
当期純損失	131百万円
総資産	738百万円
純資産	632百万円

4 株式取得の時期

平成21年2月12日(予定)

5 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

①取得株式数	600,000株
②取得価額	157百万円
③取得後の持分比率	64.8%

6 購入資金の調達方法

全額自己資金で賄います。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	56,212,947
II 売上原価	33,614,879
売上総利益	22,598,068
III 販売費及び一般管理費	19,869,061
営業利益	2,729,006
IV 営業外収益	213,954
V 営業外費用	66,130
経常利益	2,876,830
VI 特別利益	350,525
VII 特別損失	637,264
税金等調整前四半期純利益	2,590,091
税金費用	1,194,999
少数株主損失	19,765
四半期純利益	1,414,857

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,590,091
減価償却費	1,945,949
退職給付引当金の減少額	△124,697
資産・負債の純増減額	△880,407
その他	△67,572
小計	3,463,362
法人税等の支払額	△1,586,515
その他	40,504
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,917,352
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の純収支	353,282
有形固定資産の純収支	△2,288,569
その他	△81,387
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,016,674
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入金の純収支	△489,538
自己株式の取得による支出	△2,133
配当金の支払額	△538,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,029,734
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,206
V 現金及び現金同等物の減少額	△1,136,264
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,891,848
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,755,584

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

	菓子の製造 販売事業 (千円)	貨物運送、 倉庫事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	53,829,614	1,761,033	622,298	56,212,947	—	56,212,947
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,473	3,489,554	690,676	4,182,704	(4,182,704)	—
計	53,832,087	5,250,588	1,312,975	60,395,651	(4,182,704)	56,212,947
営業費用	51,319,750	5,088,190	1,258,703	57,666,644	(4,182,704)	53,483,940
営業利益	2,512,337	162,397	54,271	2,729,006	—	2,729,006

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各分に属する主要な事業内容

(1)菓子の製造販売事業・・・菓子の製造販売

(2)貨物運送、倉庫事業・・・貨物運送、倉庫

(3)その他・・・自動車の販売・修理、コンピュータソフトウェアの開発・販売、設備等の設計・管理